

生活保護

生活保護世帯が抱える問題は、引きこもりや家庭内暴力、アルコール依存など、複雑化、多様化している。区職員の対応だけでなく、精神科医などの専門機関や保護司など地域の人材の力を活用してはどうか。

答 福祉事務所には嘱託医があり、精神疾患についても専門的な助言を受け、ケースワーカーが活動している。医療機関やハローワークといった専門機関や、地域の方の力も一層活用していきたい。

都市整備

中野駅舎北口整備

かせ議員 中野駅北口改札内は、階段昇降機が設置されておらず、設置を望む区民の声も多い。昇降機が設置されている南口側との階段段数の差はわずか1段であり、この違いにより雲泥の差が生まれることはあつてはならない。早急にJ・Rと交渉し、改善すべきと思うがどうか。

答 J・Rからは、階段昇降機の設置に向けた検討を行っている。区としても、早期に設置するよう要請していきたい。

妙正寺川の橋拡幅

藤本議員 平和の森公園は広域避難場所だが、対岸の住民が安全に避難するためには、橋の拡幅整備が必要である。妙正寺川の激甚災害対策特別

緊急事業にあわせて整備するとともに、水に親しめるよう河川の親水機能を高める検討をしてはどうか。

答 新道橋は5・5メートルから12メートルへ、新橋は6メートルから12メートルへと拡幅し、2・5メートルの歩道を2本ずつ設置する計画で、千歳橋、かつば橋をあわせて4橋総体で約2倍の拡幅となる。河川整備においては、自然河床など魚が住める川になるよう検討する。

平和の森公園整備

藤本議員 平和の森公園の芝生広場は、当初から提案してきたとおりスポーツができる広場とするよう再度検討し、整備してはどうか。あわせて、統廃合した後の野方小学校の運動広場として活用することも考えられないか。

答 芝生広場は貴重なオープンスペースであり、より有効に、幅広く親しまれる使用方を追求すべきと考える。統合新校の校庭は工夫により広さを確保するが、運動広場としての活用は、今後の検討の中で協議する。

警大等跡地の環境保全

佐藤議員 警大等跡地の地区計画は、環境負荷を小さくするまちづくりを重要な目標とすべきである。①車の流入やスピードを抑制する道路づくりを検討すべきでは。②緑の保全や自然エネルギーなど地球環境への配慮はどう具体化するのか。③まちづくり条例の理念に、環境への配慮を

盛り込む必要があるのでは。答 ①公共交通機関の利便性向上や道路構造の設計の工夫による抑制を検討する。②まちづくりを誘導するためのガイドラインに対策を盛り込む予定である。③理念には、環境に配慮したまちづくりについても掲げる予定である。

中野新橋駅の改善

岩永議員 駅舎のエレベーター設置、二方向避難路確保のために、駅の裏にある都の労働資料センターのビルを使用できるように、都に働きかけるべきでは。

答 二方向避難路の必要性は認識している。東京メトロによる用地取得の動きや、都との交渉の推移を見たい。

上鷲宮地域地区計画

佐伯議員 上鷲宮地域は土地区画整理事業により整備を行う都市計画区域であるが、都が示したガイドラインに基づき、地区計画によるまちづくりを目指している。現在の進行状況はどうか。

答 土地区画整理事業を解除し、地区計画へと変更するための協議を東京都と行っている。地域西側にある都市計画道路補助215号線の整備が明確でないため、ガイドラインを満たさないとの指摘があり、いまだ解決に至らず、地区計画素案の策定と地域への提案が遅れている。

地区計画策定スケジュール

佐伯議員 これまで話題になつていなかった都市計画道

路補助215号線の課題を都が持ち出し、地区計画策定に向けた協議が進まないというの納得できるものではない。約東どおり平成19年4月から「地区計画によるまちづくり」を行うことを前提にすると、今後のスケジュールはどうなるか。

答 地区計画によるまちづくりを平成19年4月から進めるといふことで逆算すると、10月に地区計画素案を策定、その後地区計画原案の策定が11月、都市計画の決定手続きが12月から3月となる。

地区計画策定に向けた決意

佐伯議員 地区計画の策定は容積率、建ぺい率の緩和や道路の計画など、住民への影響は大きい。地域のまちづくりが当初の予定どおり進むよう、まずは地区計画策定を約束していただきたいがどうか。

答 地区計画に関する具体的な整備計画について、地域的な整備計画について、地域住民や地権者の合意を得るよう努め、地権者や地域合意を前提に、平成19年3月に都市計画決定ができるよう手続きに入る決意である。

中野駅周辺まちづくり

市川議員 長年地域で検討されてきた中野二丁目の市街地再開発事業は、地権者全員で構成する準備組合が結成されたと聞いている。地域の結束や機運が高まっているこの時期に計画を進めることが肝要であると思うが、10か年計画のスケジュールを早めるなど弾力的な対応が必要と考え

るがどうか。答 南北の交通、まちのにぎわい、住宅環境の整備による定住人口の確保につながるメリットの大きい事業である。地域合意やまちづくり構想の具体化を進める中で、場合によっては、早期に事業を進める必要性が出てくると考えている。

教育

I-Tを活用した教育

岡本議員 教育ビジョンでは、校内LANに期待される成果として教育の情報化の推進、授業の改善による学力の向上を挙げている。校内LANの整備により、子どもたちがわくわくするような授業の取り組みが期待できる。整備を急ぐべきと思うがどうか。

答 できるだけ早い時期に進めていきたい。また、工事期間の短縮、また財政的に効率的に校内LANの敷設ができることから、統合新校には整備したい。

教員の資質向上

岡本議員 ①子どもにとって学校における最大の教育環境は教師であり、教師の資質向上は重要な課題である。人材育成も含めた区としての取り組みは。②教員を一定期間ごとに第三者機関が適正な評価を行い、生徒の評価も入れるなど、教員の評価制度を検討してはどうか。

答 ①本年度から教員マイスター制度を導入して、教師の資質向上に積極的に努めている。また教員志望の学生を学校スタッフとして授業の中で活用しながら養成をしている。②評価制度については、学校全体の評価を受けるといふ形の外部評価制度の充実を図る中で考えていきたい。

中学校対抗駅伝

藤本議員 連合行事が削られる中、長く続いていた中学校対抗駅伝が中止され、そのままとなっている。たすきには、汗と涙と伝統が込められており、目標をもって走ることは大事なことだ。平和の森公園を会場とするなど復活を検討してはどうか。

答 これまでも学校と協議してきたが、日程調整、人員の確保などが難しい。保護者、地域、学校が協力して行うのであれば、応援していく。

図書館施策の拡充

岩永議員 ①今年度策定予定の子どもの読書推進計画には、学校図書館指導員の継続や、子どもの調査活動にこたえられる学校図書館として施設整備・蔵書の拡充を含め、位置付けるべきでは。②図書館運営協議会から、図書館の資料費は当面1億円を目標に充実を図ることが必要との提言があったがどうか。

答 ①計画策定にあたっては、学校図書館の役割や機能も検討し、盛り込んでいきたい。②提言を重く受け止め、充実に向けて鋭意努力したい。

教育行政の確立

伊東議員 行き過ぎた個人主義への偏重、規範意識の低下が社会に蔓延している。今こそ、教育はその本質に立ち返る必要がある。基礎学力を定着させ、地域・文化・伝統を再認識し、公への貢献の姿勢をしつかりと培ってほしい。

答 ①現在、本人確認を行うため、来館による登録を

教育委員会として、家庭教育の役割を区教育行政の揺るぎない柱としてこの時期に確立し、明確な姿勢を打ち出すべきと思うがどうか。

答 教育は学校だけではなく、いろいろな場面で行われなければならない。子どもたちが、自立・貢献する力を養えるよう家庭、地域、学校が相互に補完し合い、中野の教育問題に取り組んでいきたい。

学校再編

藤本議員 前期の再編に向け、統合新校改修計画がつくられているが、他にも耐震補強や築50年を超える学校の改築工事の財源確保が必要となる。中後期の再編計画は財源の裏付けと、地域合意の再確認から取り組むべきではないか。

答 再編計画は平成20年度に改定し、中後期の統合新校と統合時期を定めることとなる。改定時には、児童・生徒数の推移などの人口動態、学区域の見直し、裏付けとなる財源などを加味し、区民論議の場を設けていきたい。

区立図書館

奥田議員 ①図書館のインターネット予約制度の利用率が低い。図書館に行かず、予約制度の登録ができるよう改善できないか。②図書館が、出産・入学・卒業などの人生の節目に接点を持つだけでなく、生涯学習のなかで将来必要となる情報の一つとなることを案内してはどうか。

答 ①現在、本人確認を行うため、来館による登録を